

ごっこ遊びキット～まち遊びキット～の導入による社会的相互作用の評価

佐藤朝美（東京大学大学院情報学環）星野俊樹（ミサワホーム総合研究所）星野裕之（ミサワホーム株式会社）
 春日亀美智雄（春日亀意匠）山内祐平（東京大学大学院情報学環）

概要

本研究では、保育環境が重要な役割を果たす社会性の発達に着目し、社会性を育む遊具～まち遊びキット～を開発した。「プロトタイプの形成的評価の結果と保育士のインタビューを反映させ、本実験を行った。今回はまち遊びキットが社会性を育む遊具としているかどうかの評価を中心とした報告を行う。

まち遊びキットの概要

社会的理解につながる社会的相互作用が生成する環境として、身近な街をテーマにごっこ遊びが行えるような遊具。郵便局、駅、病院、パン屋の1.2メートル四方の建物と郵便車、郵便バイク、電車、救急車の乗り物で構成。

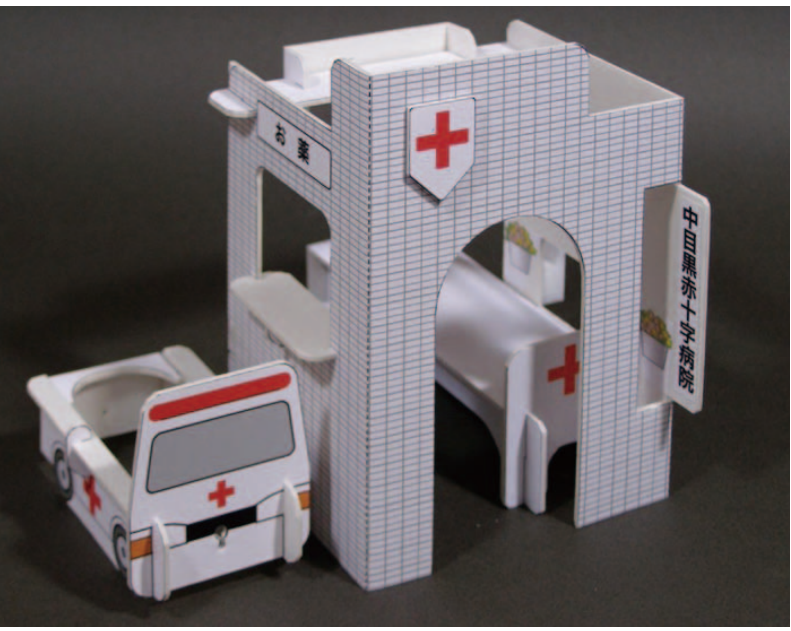
パン屋さん



郵便局



病院



駅



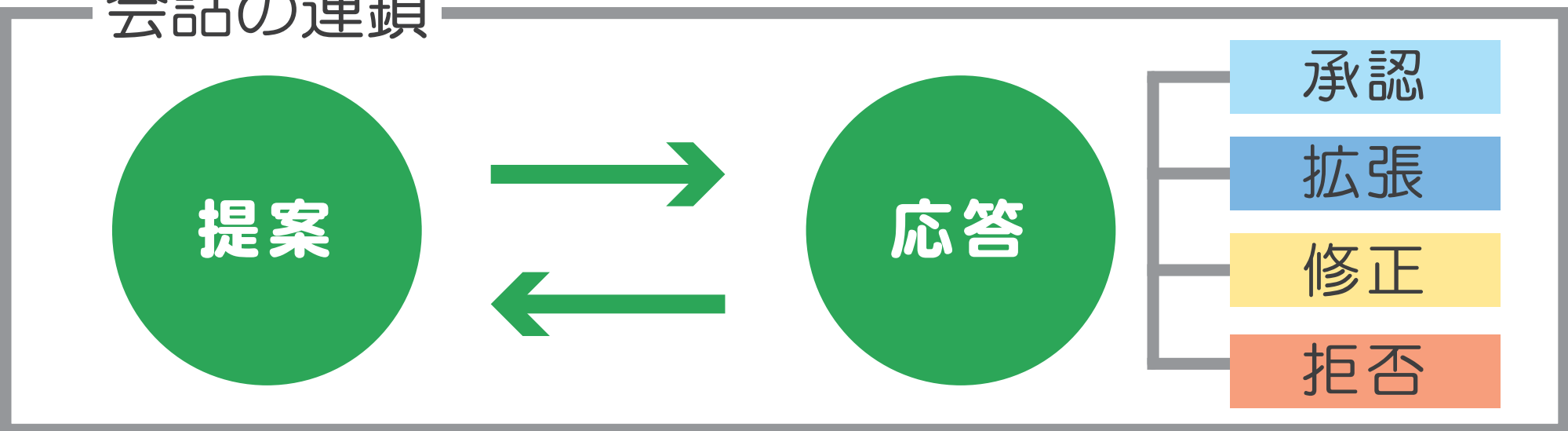
実験

実験概要

場所：都内目黒区K保育園
 時間：10：00～11：00
 　　　（前半30分 後半30分 2グループ）
 観察：自由遊び2日間、キット導入5日間
 園児人数：年長11（前半：6、後半：5）
 　　　　　年中15（前半：7、後半：8）
 　　　　　年少16（前半：8、後半：8）
 　　　　　合計42（前半：21、後半：21）

分析方法 Sawyer※の分析枠組みを使用

会話の連鎖



※ Sawyer, R. Keith. (1997) Pretend Play as Improvisation: Conversation in the Preschool Classroom. Psychology Press.

結果

自由遊びの2日目、キット導入の2日目、5日目のプロトコルの会話の連鎖をカウント

観察項目		提案	応答			
			承認	拡張	修正	拒否
自由遊び (2日目) 	積み木	23	9	16	15	1
	レゴ	22	24	10	32	5
	滑り台	7	1	2	7	3
	平均台	14	2	6	5	3
	合計	66	36	34	59	12
キット導入 (2日目) 	郵便局	33	37	35	17	1
	駅	40	17	34	4	0
	病院	32	35	64	23	16
	パン屋	34	31	83	13	3
	合計	139	120	216	57	20
キット導入 (5日目) 	郵便局	56	9	66	26	3
	駅	39	6	93	6	0
	病院	31	4	61	12	0
	パン屋	38	13	128	24	1
	合計	164	32	348	68	4

考察

自由遊びでの会話と比較すると明確なように、キット導入した際は、子ども達の間で相互交渉が多数行われ、会話の連鎖が起こっている。その中で子ども自身が考えたアイデアを他の子どもが受け入れる形で、社会的な相互作用が行われている。また、その回数も導入後増えていることから、まち遊びキットは、社会的相互作用と生成する遊具としての機能を果たしていると考えられる。